

## 目次

- 2 はじめに
- 3 **CEOインタビュー**  
社会が直面する課題の解決に向けて
- 5 2011年度ハイライト
- 6 中期経営計画「日産パワー88(エイティエイト)」
- 8 日産における災害対応
- 10 日産のCSR
- 14 ルノーと日産のアライアンス(提携)
- 16 **コーポレートガバナンス・内部統制**
- 22 **環境**
- 39 **安全**
- 46 **品質**
- 53 **経済的貢献**
- 55 **従業員**
- 62 **バリューチェーン**
- 65 **社会貢献**
- 70 **CSRデータ集**
- 71 日産CSR スコアカード
- 76 2011年度 決算概況
- 77 パフォーマンスデータ
- 78 事業等のリスク
- 80 第三者意見書

## 関連ウェブサイトのご紹介

## 企業情報

<http://www.nissan-global.com/JP/COMPANY/>

## 環境への取り組み

<http://www.nissan-global.com/JP/ENVIRONMENT/>

## IR情報

<http://www.nissan-global.com/JP/IR/>

## 商品情報(国別)

<http://www.nissan-global.com/JP/GLOBAL/>

## 商品情報(日本)

<http://www.nissan.co.jp/>

## 社会貢献活動

<http://www.nissan-global.com/JP/CITIZENSHIP/>

## CSRへの取り組み

<http://www.nissan-global.com/JP/COMPANY/CSR/>

## 品質への取り組み

<http://www.nissan-global.com/JP/QUALITY/>

## 安全への取り組み

<http://www.nissan-global.com/JP/SAFETY/>

## 最新の技術

<http://www.nissan-global.com/JP/TECHNOLOGY/>

## デザインへの取り組み

<http://www.nissan-global.com/JP/DESIGN/>

## 企業情報ライブラリー

<http://www.nissan-global.com/JP/COMPANY/LIBRARY/>

# はじめに

「人々の生活を豊かに」という企業ビジョンのもと、日産は製品やサービスの提供を通じた価値の提供はもとより、グローバルなあらゆる事業活動を通じて社会の持続的な発展に貢献することを目指しています。電気自動車普及への先駆的な取り組みや、新興国への手ごろな価格の車両の提供も、このビジョンに根ざす日産のCSR\*の取り組みの一例と言えます。

こうした活動をより多くの皆さまにご理解いただくため、日産ではCSRにかかわる考え方や取り組みを「サステナビリティレポート」としてまとめ、毎年公表しています。情報を広く社会と共有することで事業活動の透明性を高めると同時に、社外からのフィードバックを通じて改善を図り、今後もさらに持続可能な社会の発展に寄与したいと考えています。

なお、環境配慮の観点から冊子版は2006年度版をもって廃止し、ウェブサイト上で電子データ(PDFファイル)をダウンロードする公開方法に変更しています。

\* CSR : Corporate Social Responsibility 企業の社会的責任

## 日産自動車 グループ概要

**設立 :** 1933年12月26日

**連結売上高(2011年度) :** 9兆4,090億円

**日産グループ従業員数(2012年3月末現在) :**  
157,365人

### 構成・事業内容 :

日産グループは、日産自動車株式会社とその子会社、関連会社等で構成されています。「自動車」「フォークリフト」「マリナー」およびそれぞれの「部品」の製造・販売を主な事業内容としており、さらに同事業に関連する「物流」「金融」をはじめとした各種サービス活動を展開しています。

### ビジョン :

日産 : 人々の生活を豊かに

### ミッション :

私たち日産は、独自性に溢れ、革新的なクルマやサービスを創造し、その目に見える優れた価値を、すべてのステークホルダー\*に提供します。それらはルノーとの提携のもとに行っていきます。

\* ステークホルダーとは、お客さま、株主、従業員、販売会社、部品メーカー、そして私たちが働き、事業を営む地域社会を指します

### ■ 「サステナビリティレポート2012」編集方針

日産は、私たちが果たすべき社会的責任をステークホルダーの皆さまにご理解いただくため「サステナビリティレポート」を通じ、日産の取り組みを分かりやすくお伝えしていきたいと考えています。「サステナビリティレポート2012」では、2011年6月に発表した中期経営計画「日産パワー88」の達成に向けた取り組みを中心に、日産が自動車メーカーとして取り組むべきと考えている「CSR重点8分野」における2011年度の活動結果および進捗について報告しています。

### ■ 本レポートの対象範囲

期間: 2011年度(2011年4月~2012年3月)を基本とし、該当外のものについては期間を文中に明記しています。

組織: 日産自動車株式会社および海外拠点(欧州日産、北米日産など)を含む日産グループ

### ■ 参考ガイドライン

GRIガイドライン、ISO26000(対照表をウェブサイトで公開)

### ■ 第三者認証について

サステナビリティレポートの第三者認証については、グローバルに普遍的な手法が確立されているとは言えず、本来の目的である報告書の信頼確保という段階には至っていないことを勘案し、導入を見送っています。

### ■ 見直しに関する注意事項

このサステナビリティレポートの記載内容には、歴史的事実や、当社の将来にかかわる計画、目標およびそれに基づく事業計画や考え方が含まれています。実際の業績は、さまざまな要因により、これらに見通しとは大きく異なる結果となり得ることをご承知おきください。日産の事業活動やその展開だけでなく、世界経済の動向や自動車産業を取り巻く情勢の変化、地球環境の変化なども、実際の業績に大きな影響を与え得る要因となります。

発行後に誤記などが確認された場合には、その正誤情報を以下のウェブサイト上で、ご案内いたします。

<http://www.nissan-global.com/JP/COMPANY/CSR>

## Nissan Blue Citizenship Stories 2012

2012年度から、CSRのコミュニケーションに関する新たな試みとして、「Nissan Blue Citizenship Stories 2012」という冊子を発行しています。従業員を含むあらゆるステークホルダーの方々に、日産のCSRに関する取り組みをもっと分かりやすく、より身近に感じていただくため、2012年6月に発行しました。同冊子はウェブサイトにて公開しています。

